

# 9. 原子力災害時の医療等の実施体制 (安定ヨウ素剤・避難退域時検査・簡易除染を含む)

# PAZ内及びUPZ内住民に対する安定ヨウ素剤の事前配布

かごしまけん

- 鹿児島県では、PAZ内及びUPZ内住民の配布対象者に安定ヨウ素剤の説明会及び配布会を実施。
- PAZ内住民を対象に42回の説明会と34回の配布会を実施し、令和2年7月19日現在、2,663人に事前配布を実施。今後も継続して説明会を実施し、未配布者に対するフォローを実施。
- PAZ内すべての学校、保育園、病院、社会福祉施設に加え、希望する事業所にも安定ヨウ素剤の配備を実施。
- UPZ内住民に対しては、障害や病気により緊急時の受け取りが困難であるなど、一定の要件を満たし、事前配布を希望する住民を対象に説明会と配布会をそれぞれ26回実施し、令和2年4月1日現在、2,016人に事前配布した。今後も継続して説明会を実施し、希望者に対する配布を実施。
- UPZ内の希望する医療機関、社会福祉施設に対し事前配布を実施。

## ●PAZ内住民への事前配布状況

	配布対象者(人)※	配布済人数(人)
さつませんだいし 薩摩川内市	3,969	2,663
合計	3,969	2,663

※ PAZ内の住民数から、PAZ内に住む九州電力職員及びPAZ内の病院に住民票を移している入所者を除いた人数

## ●UPZ内住民への事前配布状況

	配布要件	配布済人数(人)
薩摩川内市	UPZ内に居住しており、以下の一定の要件を満たし、事前配布を希望する住民を対象 ①障害や病気のある方 ②高齢者のうち災害時に配慮を要する方 ③妊婦・授乳婦 ④乳幼児(未就学児) ⑤①～④には該当しないが、類する事情がある方 ⑥①～⑤に該当する方が世帯にいる方	917
いちき串木野市		425
阿久根市		133
鹿児島市		40
出水市		187
日置市		231
始良市		0
さつま町		79
長島町		4
合計		-

## ＜安定ヨウ素剤事前配布説明会＞

医師、薬剤師、県及び市職員により、安定ヨウ素剤の効能や服用時期など、事前配布に際し知っておくべき事項を説明。



医師による説明



問診

- ▶ 避難住民等に対する安定ヨウ素剤の緊急配布に備え、17箇所の関係市町施設及び11箇所の保健所等に合計約161万丸の丸剤と500gの粉末剤及び乳幼児向けのゼリー状安定ヨウ素剤約2万包を備蓄（令和2年10月現在）。
- ▶ 緊急配布は県及び関係市町職員が、備蓄先よりUPZ内緊急配布場所※及び避難退域時検査場所へ搬送の上、対象住民等に順次配布・調製を実施。

## <安定ヨウ素剤の備蓄場所>



安定ヨウ素剤備蓄場所

**28箇所**  
〔関係市町施設：17箇所  
保健所等：11箇所〕



県及び市町職員により、安定ヨウ素剤の搬送を実施

安定ヨウ素剤の緊急配布を実施

・UPZ内緊急配布場所※  
・避難退域時検査場所

※ 緊急配布場所として、UPZ内の避難経路上で公共施設等(12か所)をリストアップし、市町と協議中

凡例  
● 安定ヨウ素剤備蓄場所